記者発表資料

平成２６年　６月１３日
湯沢河川国道事務所
山形河川国道事務所

東北中央自動車道（昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまち）の計画検討に関するアンケート調査を実施します。

～アンケートへのご協力をお願いします。～

東北中央自動車道は、福島県相馬市を起点とし、福島県福島市や山形県山形市を経由して秋田県横手市に至る延長約２６８kmの高規格幹線道路です。

本調査は、未事業化区間である「昭和～金山」「及位～上院内」「下院内～雄勝こまち」間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聴きするためにアンケート調査を行います。

対応方針案（ルート帯案）を検討していく上での配慮すべき事項などについて、ご意見をお寄せください。

【アンケート概要】

１．アンケート　：別添のとおり

２．回 答 方 法：回答方法は２通りあります（詳細は別紙のとおり）

①返信用ハガキによる回答

・秋田県湯沢市、山形県新庄市・金山町・真室川町にお住まいの方へは、アンケート票・返信用ハガキを市町広報誌等に挟み込み、全世帯へ１部ずつ配布いたします。

・その他別紙の河川国道事務所や市町村役場、道の駅などにアンケート票・返信用ハガキと回収ボックスを設置しております。

②インターネットによる回答

・以下のＵＲＬまたは右記から、アンケートページへアクセスして回答できます。

ＵＲＬ：http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/02_miti/touhokutyuuou/index.htm

３．期　　間　：平成２６年６月１６日（月）から　７月７日（月）まで

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局、秋田建設新報社、秋田建設工業新聞、建設新聞社、秋田県南日々新聞、秋田民報
山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会

【お問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
TEL 0183-73-3174(代表)　FAX 0183-72-2488
副所長　齋藤（さいとう）　廣昭（ひろあき）　（内線205）
調査第二課長　渡辺（わたなべ）　央（なかば）　（内線451）
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
TEL 023-688-8421(代表)　FAX 023-689-1081
副所長　大場（おおば）　義行（よしゆき）　（内線205）
調査第二課長　橋本（はしもと）　裕樹（ひろき）　（内線451）

別紙

●アンケート票・返信用ハガキの配布

①湯沢市、新庄市、金山町、真室川町にお住まいの方

配布方法　：各市町発行の広報誌・お知らせ等に挟み込みます。

※広報誌の発行予定月日　：　６月１６日（月）湯沢市、真室川町
６月２０日（金）金山町
６月２５日（水）新庄市

② ①以外の方

下図の河川国道事務所や市町村役場、道の駅などにアンケート票・返信用ハガキと回収ボックスを設置しております。また、インターネットでも回答可能です。

●アンケートの回答方法

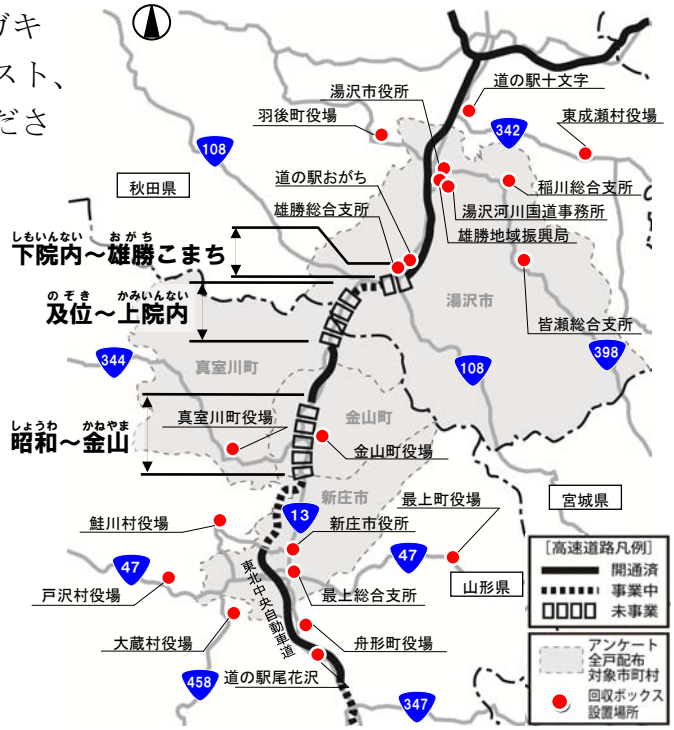
①返信用ハガキによる回答

アンケート票に付随している返信用ハガキに回答を記入いただき、お近くの郵便ポスト、または右図の回収ボックスへ投函してください。

【回収ボックス設置箇所一覧】

	秋田県内	山形県内
国土交通省	湯沢河川国道事務所	山形河川国道事務所
県	雄勝地域振興局	最上総合支庁
市町村	湯沢市役所 湯沢市雄勝総合支所 湯沢市稲川総合支所 湯沢市皆瀬総合支所 羽後町役場 東成瀬村役場	新庄市役所 金山町役場 真室川町役場 最上町役場 舟形町役場 大蔵村役場 鮭川村役場 戸沢村役場
道の駅	十文字、おがち	尾花沢

【回収ボックス設置箇所位置図】



②インターネットでの回答

検索サイトやスマートフォンから

「東北中央道　秋田山形県境」で検索し、アンケートページへアクセスしてください。
スマートフォンをお持ちの方は、右記からも回答できます。

東北中央道 秋田山形県境　検索

関係機関のホームページから

湯沢河川国道事務所、山形河川国道事務所ホームページにある下記バナーより、アンケートページへアクセスしてください。

東北中央自動車道
（昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまち）
7月7日まで ご意見募集

アンケートページＵＲＬ：http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/02_miti/touhokutyuuou/index.htm

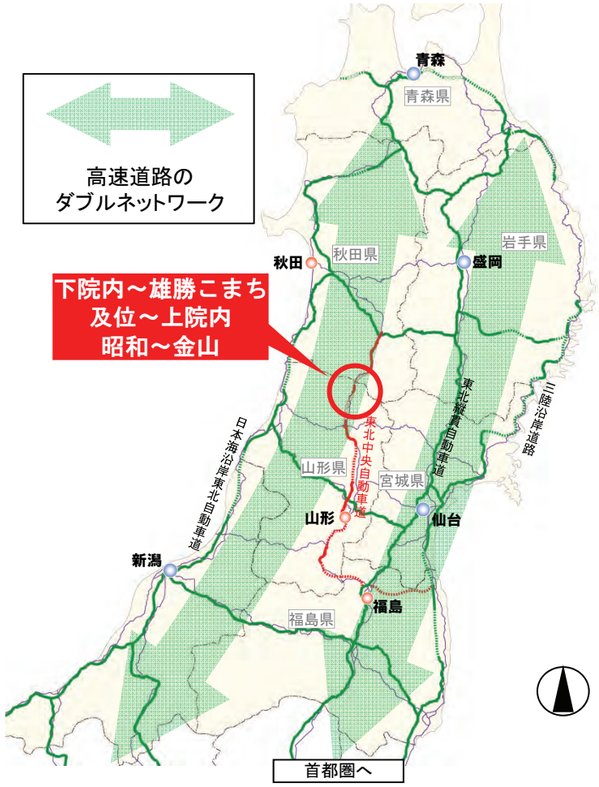
※アンケート期間中、①湯沢市役所１Ｆロビー、②道の駅・おがち、③金山町役場１Ｆロビー、④真室川町内（真室川町役場中央公民館）、⑤新庄市内（最上広域交流センターゆめりあ）でアンケートの計画概要をパネル展示します。

東北中央自動車道の役割

東北の格子状ネットワークの形成

日本の国土軸として重要な路線

●ブロック中心都市は、災害時の相互バックアップのために多重化が必要

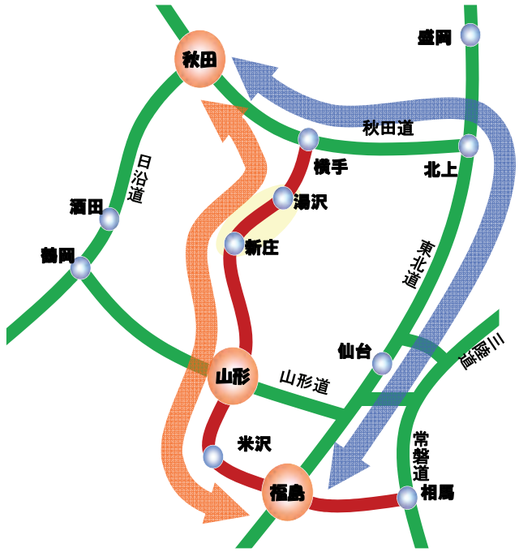


第9回高速道路のあり方検討委員会　資料3のP7に加筆

地域の課題解決と活性化

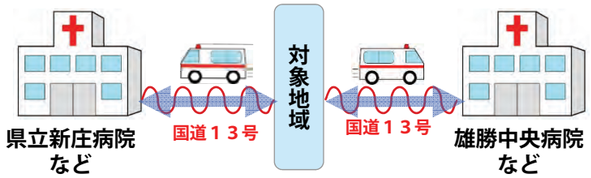
物流（産業・農業）で

●東北中央自動車道は、福島県から山形県内陸と秋田県の主要都市を連絡する重要な路線



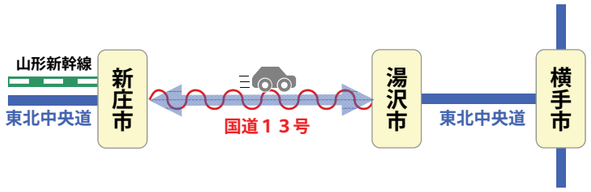
◆現道課題を解消することで、
①東北の内陸部を結ぶ最短ルートの形成
②災害時にも、主要都市間で相互バックアップが可能なネットワークの形成
③速達性や定時性の向上による、物流面での輸送コスト削減や負担軽減

医療（救急搬送）で



◆現道課題を解消することで、
①搬送時間の短縮
②安静搬送による患者への負担軽減

観光（交流）で



◆現道課題を解消することで、
①移動時間の短縮による滞在時間の増加
②定時性確保による立寄箇所の増加

アンケートに関するお問い合わせ先

【秋田県】国土交通省　湯沢河川国道事務所　調査第二課
担当：渡辺（わたなべ）、加藤（かとう）
TEL：0183-73-5559　FAX：0183-72-2488

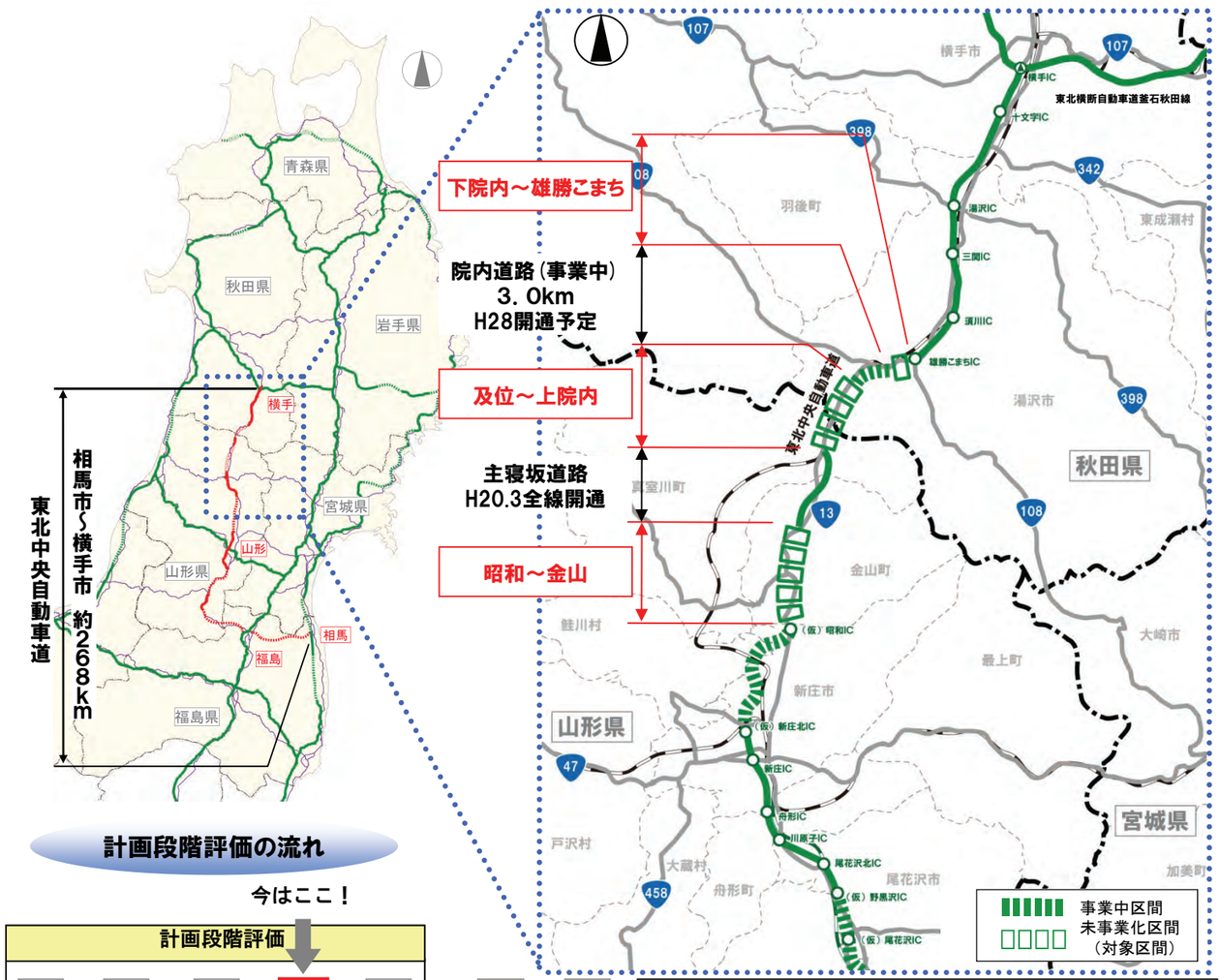
【山形県】国土交通省　山形河川国道事務所　調査第二課
担当：橋本（はしもと）、杉山（すぎやま）
TEL：023-688-8940　FAX：023-689-1081

東北中央自動車道（昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまち）における計画検討に関するアンケート【第２回】

東北中央自動車道は、福島県相馬市を起点とし、福島県福島市や山形県山形市を経由して秋田県横手市に至る延長約２６８ｋｍの高規格幹線道路です。

本調査は、未事業化区間である昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまち間（以下、対象区間という）の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聴きするためにアンケート調査を行うものです。

第２回アンケート調査（今回）では、対策案（ルート帯案）を検討していく上での留意事項（重視すべき項目）やインターチェンジなどの連絡位置についてご意見をお聴きしたく、ご協力をお願いします。



計画段階評価の流れ

今はここ！

計画段階評価
- 東北地方小委員会
- アンケート調査等
- 東北地方小委員会
- アンケート調査等
- …
- 東北地方小委員会

→ 新規採択時評価 → 事業化

●計画段階評価の詳しい情報やインターネットによる回答を行う場合は、湯沢河川国道事務所・山形河川国道事務所ＨＰから以下のバナーをクリック。

東北中央自動車道
（昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまち）
7月7日まで　ご意見募集

●または、「東北中央道　秋田山形県境」で検索。

東北中央道　秋田山形県境　検索

国土交通省　湯沢河川国道事務所　山形河川国道事務所
秋田県　山形県
湯沢市　新庄市　金山町　真室川町

昭和～金山間の　概ねのルート帯（案）

【案①】全線新設案　　全線で新たに自動車専用道路を整備する案

延　長　約 9km　｜　構　造　サービス速度80km/h（自動車専用道路）　｜　費　用　約260～310億円



※上記はあくまで整備イメージであり、確定したものではないため、今後具体的な構造・形状について検討

【案②】新設＋現道改良案　　現道課題が多い箇所は一般道バイパスを整備し、一部現道を改良する案

延　長　約10km　｜　構　造　サービス速度60km/h（一般道路）　｜　費　用　約230～280億円



※上記はあくまで整備イメージであり、確定したものではないため、今後具体的な構造・形状について検討

【案③】現道改良案　　現道を改良する案

延　長　約11km　｜　構　造　サービス速度60km/h（一般道路）　｜　費　用　約210～260億円



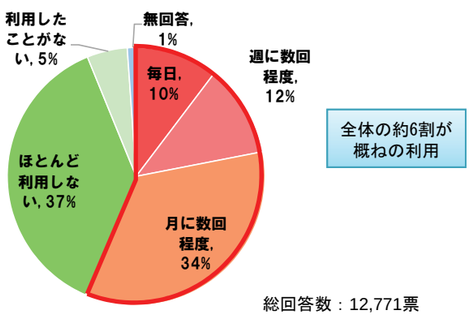
※上記はあくまで整備イメージであり、確定したものではないため、今後具体的な構造・形状について検討

■３つの案の比較

評価項目			自動車専用道路（サービス速度80km/h）	一般道路（サービス速度60km/h）	
項目		指標	【案①】全線新設案（延長＝約 9km）	【案②】新設＋現道改良案（延長＝約10km）	【案③】現道改良案（延長＝約11km）
政策目標	冬期交通環境の改善	運搬排雪などの交通規制の影響	・運搬排雪区間を回避可能 ⇒軽減が大きい	・運搬排雪区間を回避可能 ⇒軽減が大きい	・対応可能な堆雪幅の確保にとどまる ⇒軽減は小さい
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	事故・災害による通行止めの影響（待機や迂回）	・迂回路として機能 ⇒影響が大きく改善	・部分的に迂回路として機能 ⇒影響が緩和	・新たな道路は構築されない ⇒影響は残る
	医療施設への速達性の向上、安静搬送の実現	医療施設までの搬送時間や患者への負担（信号交差点の影響）	・交差が制限される自動車専用道路を整備 ⇒効果が大きく見込まれる	・交差が生じるが、部分的に一般道路を整備 ⇒効果が見込まれる	・現況とほとんど変わらない ⇒効果はさほど見込まれない
	地域連携の強化による観光流動等の活性化	観光地への立寄箇所や滞在時間の増加（広域的な時間短縮等）	・時間短縮が大きく定時性が向上 ⇒増加が見込まれる	・時間短縮が小さく、定時性はあまり変わらない ⇒増加はさほど見込まれない	・時間短縮が小さく、定時性はあまり変わらない ⇒増加はさほど見込まれない
	安全な道路環境の確保	交通事故の発生リスク	・自動車専用道路と現道で交通を分散 ⇒軽減が大きい	・現道と交通を分散するが、一部残る ⇒軽減が望める	・現況とほとんど変わらない ⇒軽減はさほど見込めない
道路整備による影響	生活環境	沿道家屋への影響	・集落等を回避 ⇒影響は小さい	・集落等を一部通過 ⇒影響がある	・沿線集落等を拡幅等により改良 ⇒影響が特に大きい
	自然環境	自然の改変	・全線において道路を新設 ⇒改変がある	・ほとんどの区間で道路を新設 ⇒改変がある	・全線で現在の国道を改良 ⇒改変は小さい
	早期効果の発現	発現の時期	・部分的な効果発現が困難	・部分的な効果発現が困難	・開通したところから効果発現が見込める
	工事の影響	現道交通への影響	・現道での規制が少ない ⇒影響はほとんどない	・部分的に現道改良 ⇒影響がある	・ほぼ全線が現道改良 ⇒影響が大きい
	コスト	整備に要する費用	約２６０～３１０億円	約２３０～２８０億円	約２１０～２６０億円

～第１回アンケート調査結果～（昭和～金山）

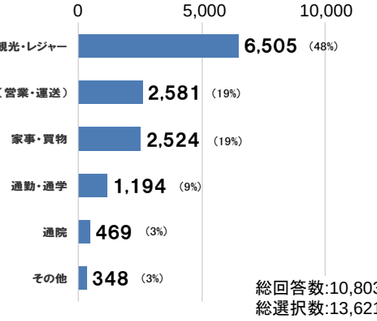
■利用頻度



全体の約6割が概ねの利用

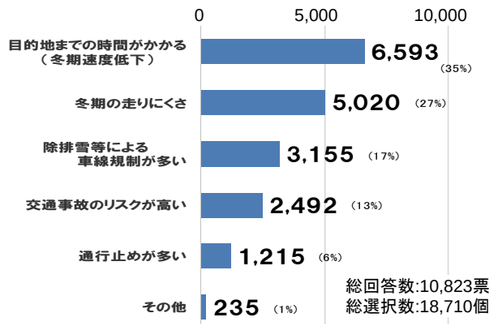
総回答数：12,771票

■利用目的



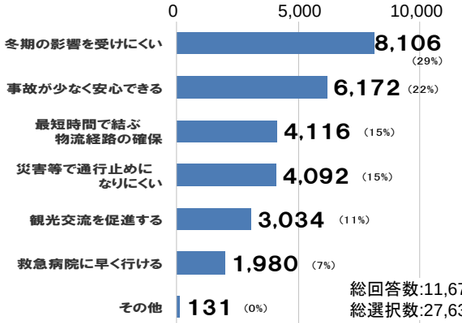
総回答数:10,803票
総選択数:13,621個

■困ったことや問題点



総回答数:10,823票
総選択数:18,710個

■道路に求められる機能

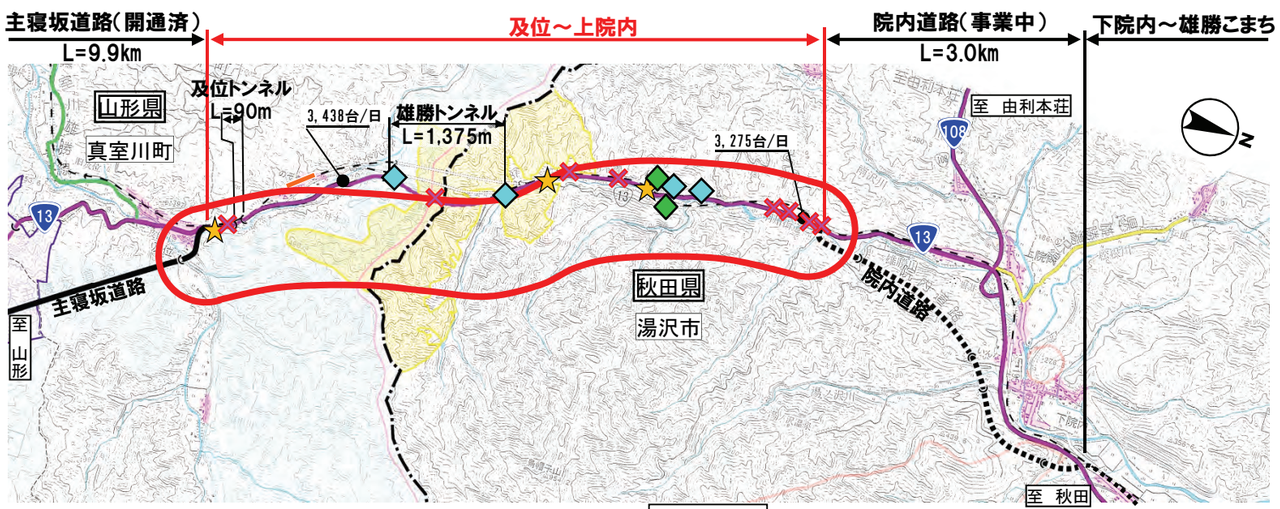


総回答数:11,670票
総選択数:27,631個

及位～上院内間の　概ねのルート帯（案）

【案①】全線新設案　全線で新たに自動車専用道路を整備する案

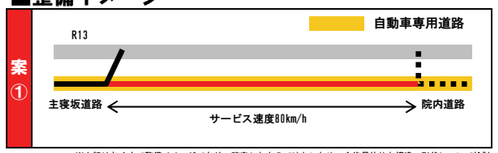
延　長	約　7km	構　造	サービス速度80km/h(自動車専用道路)	費　用	約280～330億円



凡　例

- 高規格(事業中)
- 高規格(供用中)
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道
- 雄勝峠スギ植物群落保護林
- 加無山県立自然公園(第2種地域)
- 加無山県立自然公園(第3種地域)
- 加無山県立自然公園(普通地域)
- 鳥獣保護区
- 集落
- 事故の発生割合が高い箇所
- 雪庇処理が必要な箇所
- 防災点検要対策箇所
- 全面通行止め発生箇所 (H15-H24)

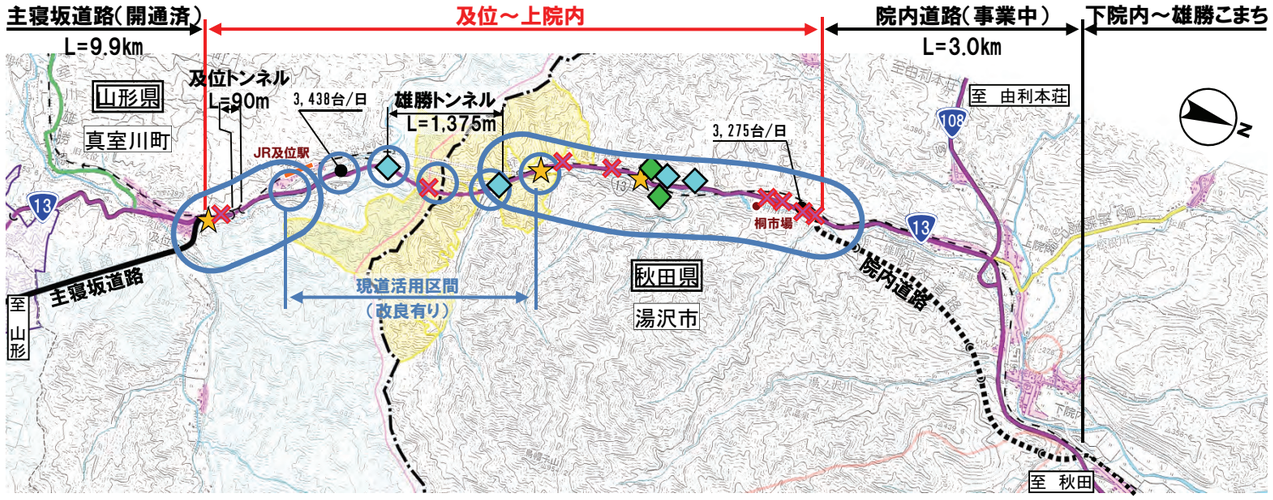
■整備イメージ



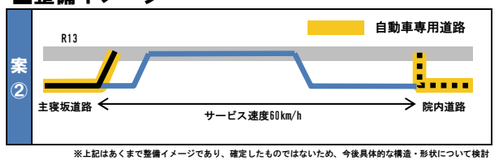
※上記はあくまで整備イメージであり、確定したものではないため、今後具体的な構造・形状について検討

【案②】新設＋現道改良案　現道課題が多い箇所は一般道バイパスを整備し、一部現道を改良する案

延　長	約7km	構　造	サービス速度60km/h(一般道路)	費　用	約100～150億円



■整備イメージ



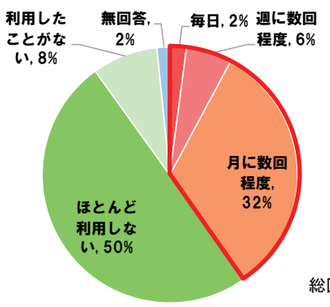
※上記はあくまで整備イメージであり、確定したものではないため、今後具体的な構造・形状について検討

■２つの案の比較

評価項目			自動車専用道路（サービス速度80km/h）	一般道路（サービス速度60km/h）
項目		指標	【案①】全線新設案（延長＝約７ｋｍ）	【案②】新設＋現道改良案（延長＝約７ｋｍ）
政策目標	冬期交通環境の改善	雪庇処理などの交通規制	・雪庇処理箇所を回避可能。 ⇒軽減が大きい	・雪庇処理箇所を回避または改良。 ⇒軽減が大きい
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	事故・災害による通行止めの影響（待機や迂回）	・迂回路として機能 ⇒影響が大きく改善	・部分的に迂回路として機能 ⇒影響が緩和
	医療施設への速達性の向上、安静搬送の実現	医療施設までの搬送時間や患者への負担（信号交差点の影響）	・交差が制限される自動車専用道路を整備 ⇒効果が大きく見込める	・現況とほとんど変わらない ⇒効果はさほど見込まれない
	地域連携の強化による観光流動等の活性化	観光地への立寄箇所や滞在時間の増加（広域的な時間短縮等）	・時間短縮が大きく、定時性が向上 ⇒増加が見込まれる	・時間短縮が小さく、定時性はあまり変わらない ⇒増加はさほど見込まれない
	安全な道路環境の確保	交通事故の発生リスク	・自動車専用道路と現道で交通を分散 ⇒軽減が大きい	・現道と交通を分散するが、一部残る ⇒軽減が望める
道路整備による影響	生活環境	沿道家屋への影響	・集落等を回避 ⇒影響が小さい	・集落等を回避 ⇒影響が小さい
	自然環境	自然の改変	・全線において道路を新設 ⇒改変がある	・現在の国道を改良する区間がある ⇒改変は小さい
	早期効果の発現	発現の時期	・部分的な効果発現が困難	・開通したところから効果発現が見込める
	工事の影響	現道交通への影響	・現道での規制が少ない ⇒影響はほとんどない	・現道の改良に伴い規制が発生 ⇒影響が大きい
	コスト	整備に要する費用	約２８０～３３０億円	約１００～１５０億円

～第１回アンケート調査結果～（及位～上院内）

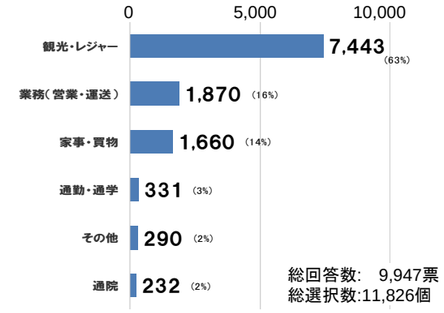
■利用頻度



全体の約4割が概ねの利用

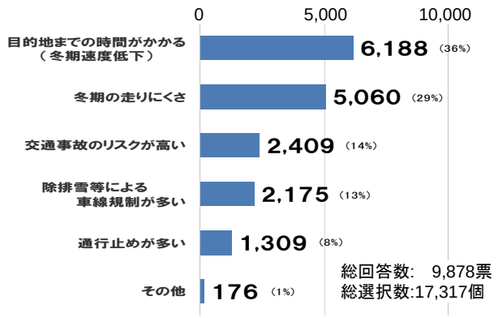
総回答数:12,273票

■利用目的



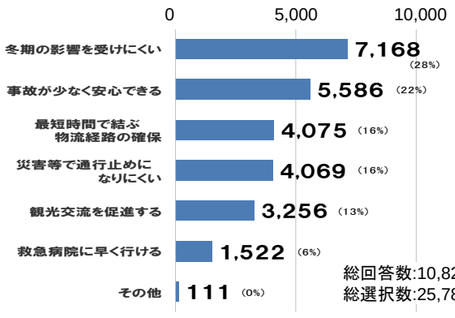
総回答数:　9,947票
総選択数:11,826個

■困ったことや問題点



総回答数:　9,878票
総選択数:17,317個

■道路に求められる機能

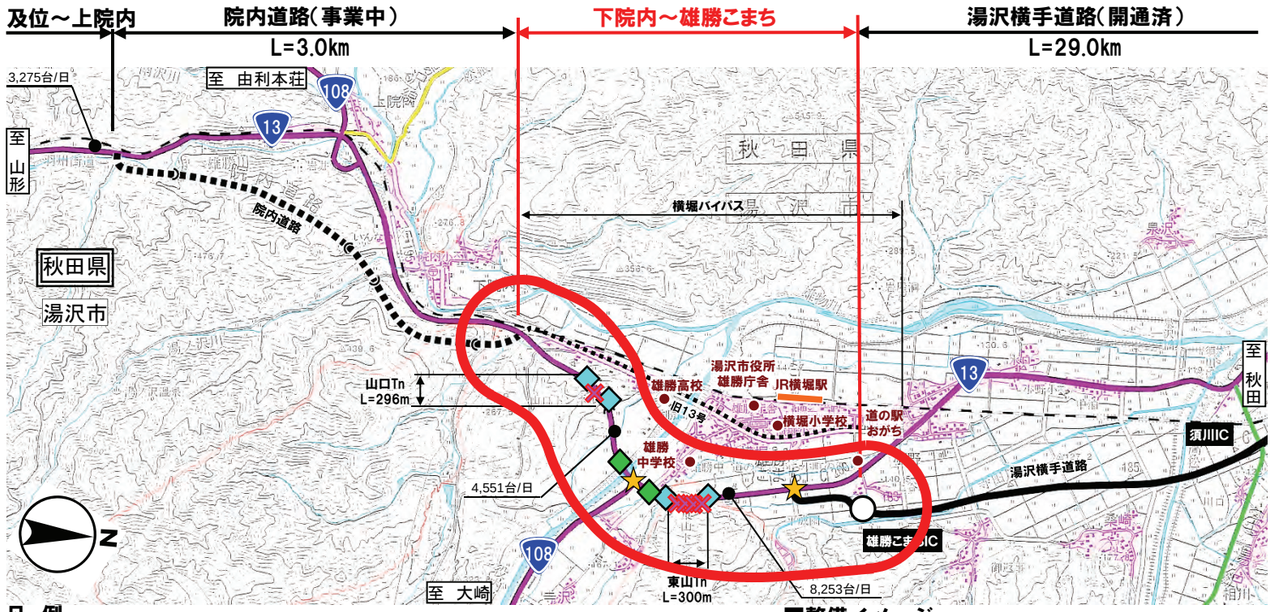


総回答数:10,821票
総選択数:25,787個

下院内～雄勝こまち間の　概ねのルート帯（案）

【案①】全線新設案　　全線で新たに自動車専用道路を整備する案

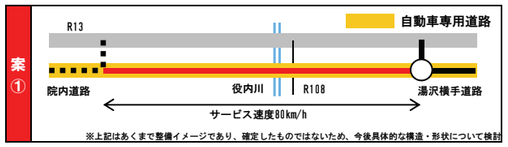
延　長	約　4km	構　造	サービス速度80km/h(自動車専用道路)	費　用	約80～130億円



凡　例

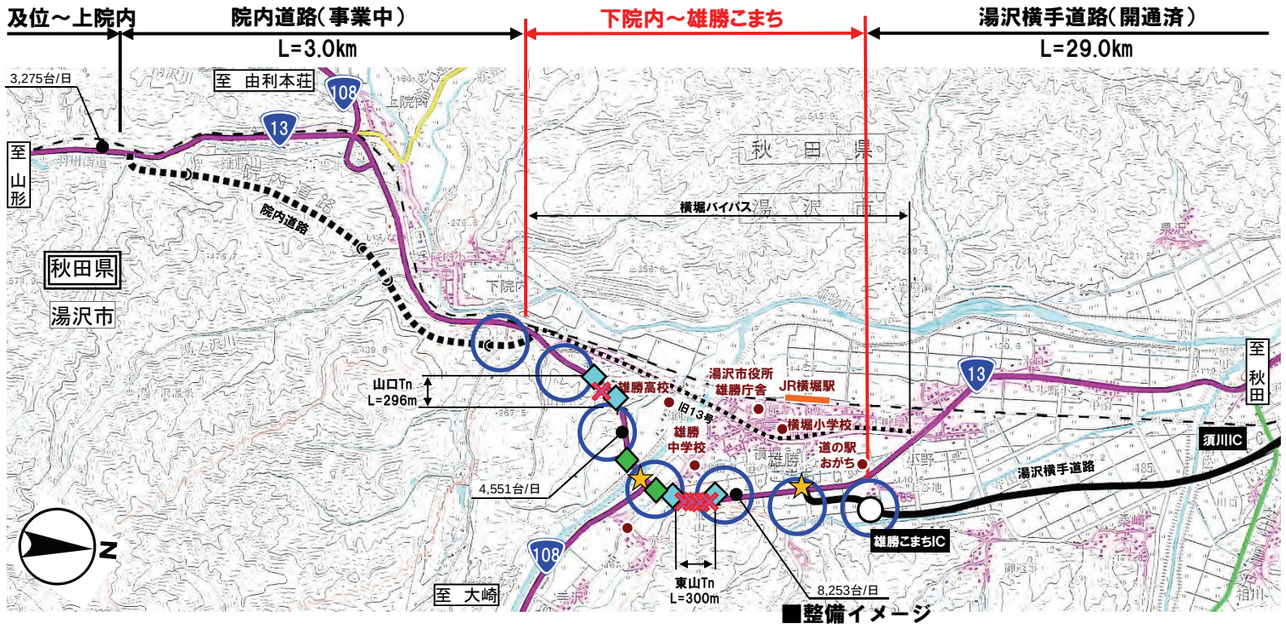
- 高規格(事業中)
- 高規格(供用中)
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道
- 事故の発生割合が高い箇所
- 雪庇処理が必要な箇所
- 防災点検要対策箇所
- 全面通行止め発生箇所 (H15-H24)
- 集落
- 鳥獣保護区

■整備イメージ

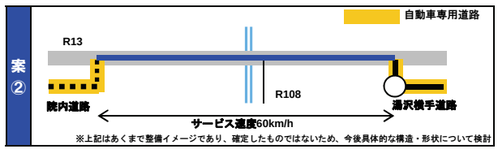


【案②】現道改良案　　現道を改良(一部交差点立体化)する案

延　長	約　4km	構　造	サービス速度60km/h(一般道路)	費　用	約60～110億円



■整備イメージ

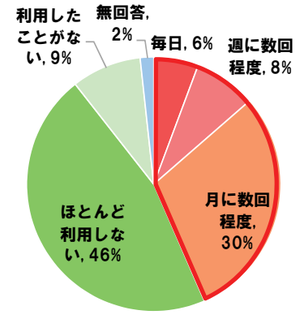


■２つの案の比較

評価項目			自動車専用道路（サービス速度80km/h）	一般道路（サービス速度60km/h）
項目		指標	【案①】全線新設案（延長＝約４ｋｍ）	【案②】現道改良案（延長＝約４ｋｍ）
政策目標	冬期交通環境の改善	雪庇処理などの交通規制	・雪庇処理箇所を回避可能 ⇒軽減が大きい	・雪庇処理箇所を改良 ⇒軽減が大きい
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	事故・災害による通行止めの影響（待機や迂回）	・迂回路として機能 ⇒影響が大きく改善	・新たな道路は構築されない ⇒影響は残る
	医療施設への速達性の向上、安静搬送の実現	医療施設までの搬送時間や患者への負担（信号交差点の影響）	・交差が制限される自動車専用道路を整備 ⇒効果が大きく見込める	・一般道路だが交差点を立体化 ⇒効果が見込める
	地域連携の強化による観光流動等の活性化	観光地への立寄箇所や滞在時間の増加（広域的な時間短縮等）	・時間短縮が大きく、定時性が向上 ⇒増加が見込まれる	・時間短縮が小さく、定時性はあまり変わらない ⇒増加はさほど見込まれない
	安全な道路環境の確保	交通事故の発生リスク	・自動車専用道路と現道で交通を分散 ⇒軽減が大きい	・課題箇所で交差点を立体化 ⇒軽減が大きい
道路整備による影響	生活環境	沿道家屋への影響	・集落等を回避 ⇒影響が小さい	・沿線の集落等を拡幅等により改良 ⇒影響がある
	自然環境	自然の改変	・全線において道路を新設 ⇒改変がある	・全線で現在の国道を改良 ⇒改変は小さい
	早期効果の発現	発現の時期	・部分的な効果発現が困難	・開通したところから効果発現が見込める
	工事の影響	現道交通への影響	・現道での規制が少ない ⇒影響はほとんどない	・現道の改良に伴い規制が発生 ⇒影響が大きい
	コスト	整備に要する費用	約８０～１３０億円	約６０～１１０億円

～第１回アンケート調査結果～（下院内～雄勝こまち）

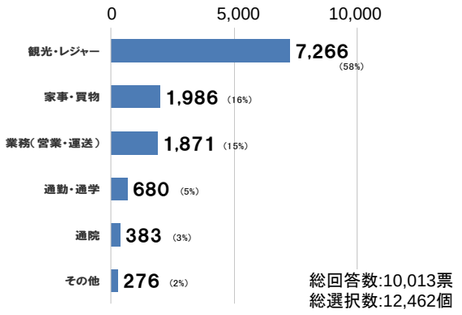
■利用頻度



全体の約4割が概ねの利用

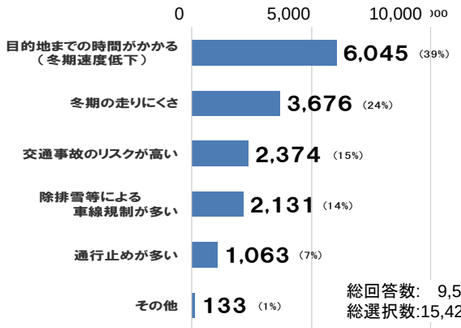
総回答数:12,294票

■利用目的



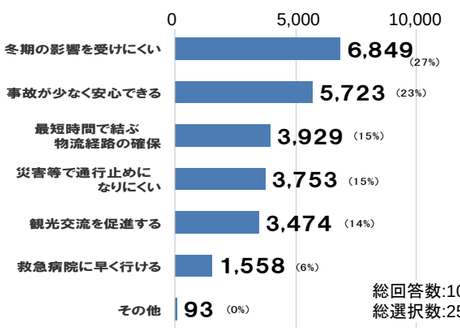
総回答数:10,013票
総選択数:12,462個

■困ったことや問題点



総回答数:　9,555票
総選択数:15,422個

■道路に求められる機能



総回答数:10,746票
総選択数:25,379個

東北中央自動車道（昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝こまち）における計画検討に関するアンケート【第２回】

下の返信用ハガキの表面、裏面にご記入の上、ご返信ください。アンケート質問は裏面にあります。ハガキを切り離してから回答をご記入ください。

（返信用ハガキ／表面）

料金受取人払郵便

湯沢局承認

1

差出有効期間
平成26年7月31日まで
切手を貼らずにお出しください。

定型郵便物

0128790

秋田県湯沢市関口字上寺沢64－2

国土交通省　東北地方整備局
湯沢河川国道事務所
調査第二課 行

ご協力お願いいたします。

あなたについてお聴かせください			
年齢	□10代　□20代　□30代　□40代 □50代　□60代　□70代以上		
職業	会社員 ・ 公務員 ・ 自営業 学生 ・ 主婦 ・ 無職 その他（　　）	性別	男 ・ 女
住所	[　　] 都 ・ 道 ・ 府 ・ 県 [　　] 市 ・ 町 ・ 村 地区名[　　]		
運転免許	□あり　　□なし		

※個人情報を同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます。）

アンケート回答欄

※区間別に3区間についてお答え下さい。

	昭和～金山	及位～上院内	下院内～雄勝こまち
問1 ※1つ選ぶ	□1 □2 □3 □4 □5	□1 □2 □3 □4 □5	□1 □2 □3 □4 □5
問2 ※複数回答可	□1 □2 □3 □4 □5 □6 [　　]	□1 □2 □3 □4 □5 □6 [　　]	□1 □2 □3 □4 □5 □6 [　　]

⇒裏面に続きます

＜アンケート回答例＞

- □には**レ点をご記入**下さい。
- **その他を選択した場合は[　]内に詳細をご記入**下さい。
- 自由回答欄には、ご自由にご意見をご記入下さい。
- 回答は、区間別に**3区間についてお答え**下さい。

アンケート回答欄

※区間別に3区間についてお答え下さい。

	昭和～金山	及位～上院内	下院内～雄勝こまち
問1 ※1つ選ぶ	□1 □2 ☑3 □4 □5	□1 □2 ☑3 □4 □5	□1 ☑2 □3 □4 □5
問2 ※複数回答可	☑1 □2 ☑3 □4 □5 □6 [　　]	□1 □2 □3 ☑4 ☑5 □6 [　　]	□1 □2 ☑3 ☑4 □5 □6 [　　]

⇒裏面に続きます

⇒表面からの続きです

※区間別に3区間についてお答え下さい。

	昭和～金山	及位～上院内	下院内～雄勝こまち
問3 ※3つ選択	☑1 □2 □3 □4 ☑5 □6 ☑7 □8 □9 □10 □11 [　　]	☑1 ☑2 □3 ☑4 □5 □6 □7 □8 □9 □10 □11 [　　]	□1 ☑2 ☑3 □4 ☑5 □6 □7 □8 □9 □10 □11 [　　]
問4 ※自由記述	*□□□・・・・*	*○○○・・・・*	*△△△・・・・*
問5 ※自由記述	*○○○・・・・*	*同左*	*×××・・・・*
問6 ※自由記述			

ご協力ありがとうございました。

◆返信方法　※下記のいずれかで返信ください。
①お近くの**郵便ポスト**に投函してください。
②国道事務所、市町村役場、道の駅（尾花沢）等の**回収ボックス**に投函してください。

◆締め切り
平成２６年７月７日までにお願いします。

ご協力ありがとうございました。

アンケートに関するお問い合わせ先

【秋田県】
国土交通省　湯沢河川国道事務所　調査第二課
担当：渡辺（わたなべ）、加藤（かとう）
TEL：0183-73-5559　FAX：0183-72-2488

【山形県】
国土交通省　山形河川国道事務所　調査第二課
担当：橋本（はしもと）、杉山（すぎやま）
TEL：023-688-8940　FAX：023-689-1081

※こちらは裏面（表面からの続き）です。

世帯配布のアンケートは、各世帯１部の送付としております。
さらにご協力頂ける場合は、お手数ですが**アンケート票をお近くの市町村役場などにも設置**しておりますので、そちらをご利用頂くか、**インターネットからの回答も可能**となっております。

●第１回アンケート調査等において、地域の皆様が感じる現道課題や道路整備の必要性が確認されました。

今回、整備を行う道路のルート帯案を検討し、複数提示しております。
複数のルート帯案から最適案やインターチェンジなどの出入りの位置を検討していく上で、配慮すべき事項などについてご意見等をお聴きするものです。

今後の道路整備へのご意見等をお答え下さい。

＜アンケート回答方法＞

- 本紙表面の**アンケート回答例をご確認のうえ**、ご記入ください。
- □には**レ点をご記入**下さい。
- その他を選択した場合は下の**[　]内に詳細をご記入**下さい。
- 自由回答欄には、ご自由にご意見をご記入下さい。

（返信用ハガキ／裏面）

＜アンケート 質問＞

■問１　国道１３号（対象区間）をどのぐらいの頻度で利用しますか？　※１つ選ぶ

１．毎日	４．年に数回程度
２．週に数回程度	５．利用したことがない
３．月に数回程度	

■問２　国道１３号（対象区間）の主な利用目的は何ですか？　※複数回答可

１．通勤・通学	４．業務（営業・運送等）
２．通院	５．観光・レジャー
３．家事・買物	６．その他 ※回答欄の〔　〕内にご記入下さい

■問３　今回、複数のルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？　※３つ選ぶ

１．降雪や凍結、除雪・排雪作業の影響を受けにくいこと
２．事故災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと
３．救急患者に負担なく、救急病院に早く行けること
４．周辺の観光地を結び目的地に早く行けること
５．交通事故が少なく安全に走行できること
６．沿道家屋へ影響が少ないこと
７．自然環境への影響が少ないこと
８．段階的にでも整備の効果が望めること
９．工事に伴う規制の影響が少ないこと
10．建設費が安いこと
11．その他　※回答欄の〔　〕内にご記入下さい

■問４　問３でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聴かせ下さい。

回答欄にご記入下さい。

■問５　インターチェンジなどの連絡位置を計画する際、どのような事に配慮すべきと思いますか。

回答欄にご記入下さい。

■問６　これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聴かせ下さい。

回答欄にご記入下さい。

⇒表面からの続きです

※区間別に3区間についてお答え下さい。

	昭和～金山	及位～上院内	下院内～雄勝こまち
問3 ※3つ選択	□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10 □11 （　）	□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10 □11 （　）	□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10 □11 （　）
問4 ※自由記述			
問5 ※自由記述			
問6 ※自由記述			

ご協力ありがとうございました。